

市ホームページ: <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/>

◆略字の見方

- 時=日時・期日
- 講=講師
- 料=料金・参加料
- 問=問い合わせ
- 先着=先着順
- 場=場所・会場
- 対=対象・資格
- 持=持ち物
- 内=内容
- 定=定員・募集人数
- 申=申し込み

注) ①どなたでも、②特になし、③無料、④不要(直接会場へ)の場合は、記載なし

◆申し込み方法

- ・電話、ファクス、Eメールの記載がある場合は、その方法で申し込み可
- ・④は、市ホームページの「イベントカレンダー」「募集情報」で申し込み可

◆庁舎の表記

- アオ=アオーレ長岡
- 大手=大手通庁舎
- 市セ=市民センター
- さい=さいわいプラザ

今月のおしらせ隊 隊員

海の妖精神 まりん

毎号、記事にまつわる話を長岡ゆかりのキャラクターや動物が紹介します。

今回は、寺泊地域のイメージキャラクター「海の妖精神 まりん」。豊漁と安全を祈願する寺泊の二面神社のご神体の二面像になぞらえ、表はカニ、裏はタコの二面体です。



いよいよ夏本番！
寺泊で海を満喫してね。
30ページへ

7.13水害から15年 防災メモリアル

担当=中之島支所地域振興課 ☎61・2010

犠牲者に追悼の意をささげるとともに、災害の教訓を伝えます。

①祈りの「灯り」点灯

時 7月12日(金)午後5時30分～8時30分(雨天中止)

②献花台の設置

どなたでも献花できます。

時 7月12日(金)午後5時30分～8時30分、13日(土)午前11時～午後6時



地域住民や中之島地域内の保育園の園児が、献花台に千羽鶴や花を手向けます。

③黙とう(サイレン吹鳴)、バルーンリリース

堤防が決壊した時刻に合わせ、黙とうをお願いします。

時 7月13日(土)午後0時52分から

①～③いずれも 場 04中之島記念公園 問 N P O 法人キズナの森 ☎66・0585

- 部 保衛さん 定各20人(先着)
- 汚れてもよい服装(①は長ズボンも) 申 7月10日(水)～17日(日)
- ③ 縄文遺跡で昆虫採集!
時 7月21日(日)午前10時～正午(少雨決行) 講 昆虫研究家・山屋茂人さん 持 採集用具 申 7月10日(水)～18日(木)
- ④ 縄文遺跡で発掘体験!
時 7月21日(日)午前10時～正午(雨天中止) 定 20人(先着) 汚れてもよい服装、長靴、軍手 申 7月10日(水)～18日(木)
- ⑤ 夏休みワークショップ
時・内 ① 7月23日(火)：縄文楽器作り ② 24日(水)：縄文編みこ

- ① 市民探鳥会
時 7月13日(土)、8月10日(土)午前6時～9時(雨天中止) 集合 蓮花寺の大杉駐車場 持 雨具、双眼鏡(ある人) 申 各開催日の2日前まで
- ② 夏のかはくミニクラフト
時 7月22日(月)～26日(金)午前9時30分～10時30分、午後2時～3時30分 場 さいわいプラザ
- 寺泊水族博物館 ☎75・4936
- ③ 特別体験展示「魚のお医者さんガラルフアで定湯体験」
時 7月6日(土)～9月23日(祝) 入館料(高校生以上700円、中学生450円、小学生350円、3歳以上200円) 持 タオル
- ④ 水生生物探索会「タツノオトシゴを見つけよう」
時 7月28日(日)、8月4日(日)、18日(日)午前9時～正午 対 小学生と保護者 定 各20人(先着) 持 タモ網、着替え 申 各開催日の2日前まで
- ⑤ 親子わくわく魚ランド
水族館の舞台裏の見学や餌

- ① スター作り③ 25日(木)：ミニ土器作り 時間 午後1時～3時 定 ①③各20人(先着) ② 10人(先着) 汚れてもよい服装、使い古したタオル
- ② ～⑤ いずれも 対 小学生以上(小学生は保護者同伴)
- 中之島文化センター ☎66・1310
- ① 親子ラジオ製作
時 7月20日(土)午後1時30分～4時 対 小学生と保護者 定 10組(先着) 申 7月6日(土)～14日(日)
- ② コーヒーアカデミー in 中之島
時 7月21日(日)午後1時30分～
- ③ コーヒーゼリーは、実は日本発祥と言われているよ。アイスコーヒーとコーヒーゼリーの作り方のコツを覚えて暑い夏を乗り切ろう。
- 時 9月5日(木)～8日(日)午前9時～午後5時(1組2時間まで) 定 1日4組(抽選) 場 5



海の妖精神 まりん

- ④ ペーゼンドルファーパーformance
時 9月5日(木)～8日(日)午前9時～午後5時(1組2時間まで) 定 1日4組(抽選) 場 5
- ① 花と緑の教室「秋のタネまき講座」
時 8月25日(日)午後1時30分～3時 講 島峰悦子緑花推進指導員 定 10人(先着) 場 1、900円 申 7月10日(水)～8月16日(金)(HPからも可)
- ② 夏休み親子園芸教室「葉脈のしおりづくり」
時 8月18日(日)午前10時～11時30分、午後1時30分～3時 講 島峰悦子緑花推進指導員 定 各10組(先着) 場 1000円 申 7月10日(水)～8月9日(金)(HPからも可)
- 緑花センター(花テラス) ☎39・8718
- ③ 夏休み親子園芸教室「葉脈のしおりづくり」
時 8月18日(日)午前10時～11時30分、午後1時30分～3時 講 島峰悦子緑花推進指導員 定 各10組(先着) 場 1000円 申 7月10日(水)～8月9日(金)(HPからも可)

- ④ 夏休み親子園芸教室「葉脈のしおりづくり」
時 8月18日(日)午前10時～11時30分、午後1時30分～3時 講 島峰悦子緑花推進指導員 定 各10組(先着) 場 1000円 申 7月10日(水)～8月9日(金)(HPからも可)
- ① 織物講座「オーバーショット織」
時 8月21日～10月2日の毎週水曜日午前9時30分～午後0時30分(計7回) 定 10人(先着) 場 19,500円(材料費別) 持 筆記用具 申 7月24日(水)から
- ② 夏休み企画「手織り・染め体験教室」
時 8月10日(土)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分 対 小学生(3年生以下は保護者同伴) 定 各10人(先着) 場 5000円 申 7月16日(火)から
- ③ とちのひまわり写真展&草木染め・手織り作品展販売
時 8月10日(土)～18日(日)午前9時～午後4時



子どもたちに人気の長さ15mの流しソーメン

- ① 特別体験展示「魚のお医者さんガラルフアで定湯体験」
時 7月6日(土)～9月23日(祝) 入館料(高校生以上700円、中学生450円、小学生350円、3歳以上200円) 持 タオル
- ② 水生生物探索会「タツノオトシゴを見つけよう」
時 7月28日(日)、8月4日(日)、18日(日)午前9時～正午 対 小学生と保護者 定 各20人(先着) 持 タモ網、着替え 申 各開催日の2日前まで
- ③ 親子わくわく魚ランド
水族館の舞台裏の見学や餌

- ④ ペーゼンドルファーパーformance
時 9月5日(木)～8日(日)午前9時～午後5時(1組2時間まで) 定 1日4組(抽選) 場 5
- ① 特別展「馬高式土器とその文化」
時 7月20日(土)～9月1日(日)午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 場 一般200円、高校生以下無料
- ★特別展開連講座「馬高式土器と二火焰土器」
時 8月10日(土)午後1時30分～3時30分 定 50人(先着) 申 7月10日(水)～8月7日(水)
- ② 縄文石器をつくらう!
時 7月20日(土) 内 時間 ① 黒曜石の矢尻：午前10時～正午 ② 滑石のまが玉：午後1時～3時 講 考古学研究者・磯



撮影：小川忠博

- ③ 夏休み親子園芸教室「葉脈のしおりづくり」
時 8月18日(日)午前10時～11時30分、午後1時30分～3時 講 島峰悦子緑花推進指導員 定 各10組(先着) 場 1000円 申 7月10日(水)～8月9日(金)(HPからも可)
- ④ 夏休み親子園芸教室「葉脈のしおりづくり」
時 8月18日(日)午前10時～11時30分、午後1時30分～3時 講 島峰悦子緑花推進指導員 定 各10組(先着) 場 1000円 申 7月10日(水)～8月9日(金)(HPからも可)
- ① 織物講座「オーバーショット織」
時 8月21日～10月2日の毎週水曜日午前9時30分～午後0時30分(計7回) 定 10人(先着) 場 19,500円(材料費別) 持 筆記用具 申 7月24日(水)から
- ② 夏休み企画「手織り・染め体験教室」
時 8月10日(土)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分 対 小学生(3年生以下は保護者同伴) 定 各10人(先着) 場 5000円 申 7月16日(火)から
- ③ とちのひまわり写真展&草木染め・手織り作品展販売
時 8月10日(土)～18日(日)午前9時～午後4時



▲長岡に暮らすクワガタムシ。どれがどの種類でしょうか。正解は科学博物館で

科学博物館の学芸員が、あまり知られていないけど、実は「スゴい」「面白い」長岡の奥深き世界を紹介します。

多様なクワガタムシが語るもの

夏の風物詩・クワガタムシ。実は長岡でも、身近な場所でも多くの種類が暮らしています。並べてみると驚くほど多様な姿形はさまざまです(写真)。一見クワガタムシに見えないものもありますが、小さくても触覚の2節目が折れ曲がる、クワガタムシの特徴をしっかりと持っています。

なぜこれほど多様なのでしょうか。答えは彼らの生息環境の違いにあります。例えばヒラタクワガタは、ヤナギの樹皮の下に隠れるのに適した平たい体です。コル

リクワガタはブナの新芽に潜りやすい2～3cmの小さな体。唇行性らしく金属光沢もあります。彼らはそれぞれの生活スタイルに合った色や形へ進化していったのです。

多様なクワガタムシ。それはその地域の自然がダイナミックな変化に富むことの証。私たちが暮らす長岡の環境が豊かなことを映し出す鏡なのです。

■生体展示
7月2日(火)～8月30日(金)、科学博物館では詳しい解説付きで展示をします。

長岡のミツキ 調査せよ! Vol.4 科学博物館 ☎32・0546